

# 日本共産党船橋議員団 ミニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005  
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347  
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>  
 市 会 議 員

岩井 友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	関根 和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
金沢 和子 ☎422-5278	中沢 学 ☎493-8140
坂井 洋介 ☎404-2039	松崎 さち ☎090-6156-8592
佐藤 重雄 ☎432-9872	渡辺 ゆう子 ☎462-7273

## スクラップの管理に道筋を

### 国に意見書を提出 8月25日

船橋市議会初日の8月25日、「雑品スクラップの適正管理制度の創設を求める意見書」が可決され、国に送付されました。

三番瀬海浜公園近くを中心に13箇所あるスクラップ置き場で、たびたび火災が発生しています。特に2015年12月18日に発生した火災は、40時間も燃え続け、黒鉛が上空を覆っていました。

市民から「危険性はないのか、市は何をしているのか」などの問い合わせが、共産党の議員団によせられました。

市は「法による制約がないため、事業者をお願いするだけ」しかできません。そこで日本共産党は、市議会から国に制度創設を求めるため、「いわゆるスクラップの、管理規制制度を創設する意見書案」を6月の議会に提出しました。

意思しました。

その後、所管する「市民環境経済常任委員会」で、内容も修正し、表題も「雑品スクラップ…」と変更し、全会派が賛成し、可決送付となったものです。

それに合わせて、共産党が提出した「いわゆる…」の意見書案は取り下げました。

これからは、国会などでの審議に委ねられることとなりますが、「スクラップ関連の火災」などが発生している現実から、整備が進められることになるのではないかと期待されます。

TPPを批准させない!  
**10.15 SAT**  
**1万人行動**  
 今国会での拙速な批准は、絶対許さない!

プレイベント	11:30~12:00
中央集会@芝公園	12:00~13:15
銀座デモ	13:30~16:00



**No Thanks TPP**  
 呼びかけ人: TPPを批准させない!全国共同行動

議会の審査で「必要なことは理解するが、全会派が一致できるようにもう少し検討したい」という意見があり、「継続審査」にしたい、ということになりました。共産党も、継続審査に同

日本共産党船橋市議団主催

**無料 法律相談**

**10月13日(木)**  
**11月16日(水)**  
**12月8日(木)**

弁護士が相談を受けます  
 労働相談も受けています  
**会場: 中央公民館**  
**時間: 午後1時~4時**  
**要予約 ☎436-3030**

# 狙われる医療、介護、福祉の大改悪

7月の参議院選挙が終わったとたんに安倍政権は次々と医療介護など社会保障制度の改悪案を出してきました。この改悪が進められたら、船橋市ではどのぐらいの人たちに影響が出るのか、市の予測を聞きました。

## ■後期高齢者医療（75歳以上高齢者では）

①75歳以上の窓口負担を原則2割に引き上げる。

1割負担対象者（平成28年3月末時点）	57,856人
---------------------	---------

②保険料の特例軽減を廃止し、来年4月から保険料を大幅に値上げする。

9割軽減4,040円⇒7割軽減12,120円	12,022人
8.5割軽減6,060円⇒7割軽減12,120円	8,012人
被扶養者軽減9割軽減→5割軽減22,000円	3,656人
所得割5割軽減→廃止	5,420人
被保険者全体64,063人（平成28年3月末）	値上げ対象計 29,110人

## ■介護保険

①要介護1・2の在宅サービスを保険給付から外す、福祉用具のレンタルも原則自己負担に変える

要介護1・2で生活援助利用者（平成28年7月）	2,734人
要介護1・2で福祉用具貸与利用者（平成27年度）	11,042人
要介護1・2で住宅改修費利用者（平成27年度）	1,607人

②利用料を2割に引き上げる。

1割負担利用者数（平成28年8月1日現在）	20,811人
-----------------------	---------

## ■生活保護では母子加算の見直し

生活保護世帯のうち母子世帯402世帯	母子加算22,790円／月 第2子1,800円／月 第3子920円／月
--------------------	---

他にも、医療制度ではさらに、高齢者の高額療養費の自己負担額を現役世代と同水準に引き上げる、入院患者から居住費負担を徴収、年金では給付のさらなる引き下げや支給開始年齢の先延ばし、等々が狙われています。

この間も年金引き下げをはじめ、70歳から74歳の医療費窓口負担が2割に引き上げられ、特養ホームの入所を要介護3以上に規制し、多床室の室料徴収、所得160万円以上の高齢者の介護利用料の2割負担化、介護保険料と後期高齢者医療保険料の値上げなど、高齢者には様々な負担増が押し付けられています。

新たな制度改悪が進めば、多くの医療難民や介護難民を出してしまうことになりそうです。

アベノミクスでは、年金積立金運用で10兆円もの損失を出し、オスプレイやP-1対潜哨戒機に4000億円、リニア新幹線に3兆円、福島原発の廃炉費用を肩代わりする、もんじゅを廃炉し新たな高速炉を計画など、安倍政権は次々と莫大な浪費を重ねようとしています。

その一方で、社会保障を改悪し、消費税増税を進める、こんなことは許されません。

暮らしを守るために力を合わせましょう。